

特集 ケースカンファレンス開催！

クリニック関連の施設に入居している治療困難な症例についてのケースカンファレンスを開催しました。まず、近畿大学附属病院で病棟主任勤務経験のある看護師により症例が紹介され、医師による経過説明と問題点の提起、薬剤師による薬剤変更の提案が行われました。初めての経験でしたが、スタッフ一同、症例を共有することで、より深く理解するとともに、療養指導をして行く上での工夫や、これからの課題についても話し合うことができました。今後は外来患者でもこのようなカンファレンスをし、さまざまな症例に対して多職種の意見を取り入れながら、チームでアプローチできたらと思いました。

さて、先月も健康教室と個人栄養指導が行われました。健康教室参加者からの感想を記載しますので、参考にして下さい。栄養指導の受講希望者は、受付もしくは院長に申し出て下さい。

6月25日健康教室参加者の感想

- ・50代女性：不摂生がたまたまと思った。夜間の食事も多く、早食いで、家族の残り物を食べる。
やはり食事の量が多いのだろうと思った。運動も決めてやらないとやらないだろう。
→ 食べたらダメなものはないので、カロリーの範囲で食事すること。
- ・20代女性とその母：夕飯が居酒屋メニューのように品数が多い。酒のつまみのような食事になりがち。
肉料理がどうしても多い。魚料理はレパートリーが限られるのであまり食べない。
太っていることは個性だと思うので、スイーツなどもよく食べる。
一緒に住んでいるおばあちゃんが、「カマーカマー」攻撃をする。
結果偏食になってしまった。
→ 妊娠、出産を控えているので、これからは自分が主治医であることを意識して体重、血糖を気にするようにしてほしい。スイーツもほどほどに。

時間割表

7月23日(木) 健康教室
2時間目給食あり

7月25日(土) 個人栄養指導

栄養指導担当講師

石川絹子先生

古川高子先生

<編集後記>

6月23日は沖縄慰霊の日でした。戦後70周年の節目です。今の平和とこの豊かさに感謝しました。